



双葉ヶ丘だより

令和6年度1月号
八田中学校
TEL0773-44-0024

八田中学校の「校風」

- ☆ 元気にあいさつ
- ☆ まじめに頑張る
- ☆ 一丸になる

君たちに望むこと

天候に恵まれた穏やかな年始となりました。本年も皆様にとって実り多い1年となりますことを願っております。
引き続き教育活動へのご理解をいただき、地域の皆様と協働的に歩む八田中学校区となりますようよろしくお願いいたします。

毎年、年末年始の数日に生徒会役員リーダー学習会が行われ、基本的な仕事の進め方を学びながら生徒会活動の目標を立てます。今回も短時間参加して、「校長から君たちに望むこと」を5点伝えました。

- ◇新しい「学習の取組」を作り出す ◇地域との繋がりを広げる
- ◇主体的に行事を組み立てる ◇表現活動ワークショップの希望を集約する
- ◇生徒にとっての「魅力ある学校」について意見を聞かせて欲しい

憧れの上級生からバトンを受け取った2年生。自分たちらしい取組を考えてくれることと今からワクワクです。

日々の生活に追われるが、今、世界は・・・

さて、1年前の新聞(朝日)では、2040年頃に労働人口が2割減少するいわゆる「8がけ社会」についての記事が目立ちました。この状況は全く変わっていませんが、今年の新聞では、「平和と民主主義」が全面に出ました。これは、「紛争の平和的解決」「法の支配」「人権や民主主義の重視」といった国連の基本理念が崩れ始めていることへの危機感のようです。世界全体が羅針盤を失いかけていてと書かれています。大人の社会が、自分の都合の良ようにルールを書き換え、自分の論理だけで相手をねじ伏せるようなそんな社会に変わってきているのでしょう。

このような時代に突入した今、学校のできることは何かと考えます。

学校のできること

紙上で、政治学者の山崎望さんは次のように述べておられます。

対立自体は消去できない。相手をつぶす・壁をつくる・逃げるといった方法以外に解決策を見いだそうとすれば「話し合う」しかありません。民主主義の基本原則「対等な立場で話し合う」という態度が必要です。

この山崎さんの論述は学校における子どもたちの世界に通じます。喧嘩をした場合の基本指導はこれでした。「でした。」と書いたのは、その方法でうまくいかない場合が増えてきているからですが、でも原則はこれです。

脚本家の野木亜紀子さんも、同紙上で述べておられます。

自分と異なる他者を知ることが必要です。(中略)情報のスピード感が上がり、速く判断するために、物事がどんどん単純化されていき、白か黒か、正義か悪かといった構図になっていく。

自分の知っている世界はあまりにも小さい世界です。いかに知らないか(無知の知:古代ギリシアの哲学者ソクラテスの言葉)を謙虚に自覚し、気持ち新たに子どもたちに向き合いたいと思います。

最後に、ここまでの話から、今後育て欲しい生徒像についてです。

- ◇SNSの情報に振り回されずに自分の頭で考える生徒
- ◇相手と対等な関係で物事を考えられる生徒
- ◇単なる生きる力ではなく、「社会の一員としての生きる力」を身につけた生徒

具体的な夢は見えずとも日々の生活に少し上の目標を掲げ、その達成に向けて努力する生徒を粘り強く支援していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

校長 小林 孝伊

生徒会がスタートしました

12月23日(月)、生徒会引継式を行いました。令和6年生徒会役員が、退任のあいさつを述べた後、令和7年生徒会役員へ生徒会旗を引き継ぎました。退任のあいさつでは、合気道の取組や行事で自分たちが企画したことを実現した達成感や、生徒会活動を学校全体で進めることができた充実感を語り、新生徒会役員への激励の言葉を述べていました。それを引き継ぐ形で、新生徒会長より決意表明があり、新生徒会がスタートしました。



冬季休業中には、生徒会役員リーダー学習会が行われ、やる気と元気あふれる表情で活動していました。



1月17日(金) 授業参観 PTA・学級委員選出会議

既にご案内しておりますが、授業参観と新2・3年生PTA学級委員の選出会議を行います。お忙しい中とは存じますが、ご参加いただきますよう、お願いいたします。なお、学級委員の選出会議に出席できない方につきましては、委任状の提出をお願いいたします。

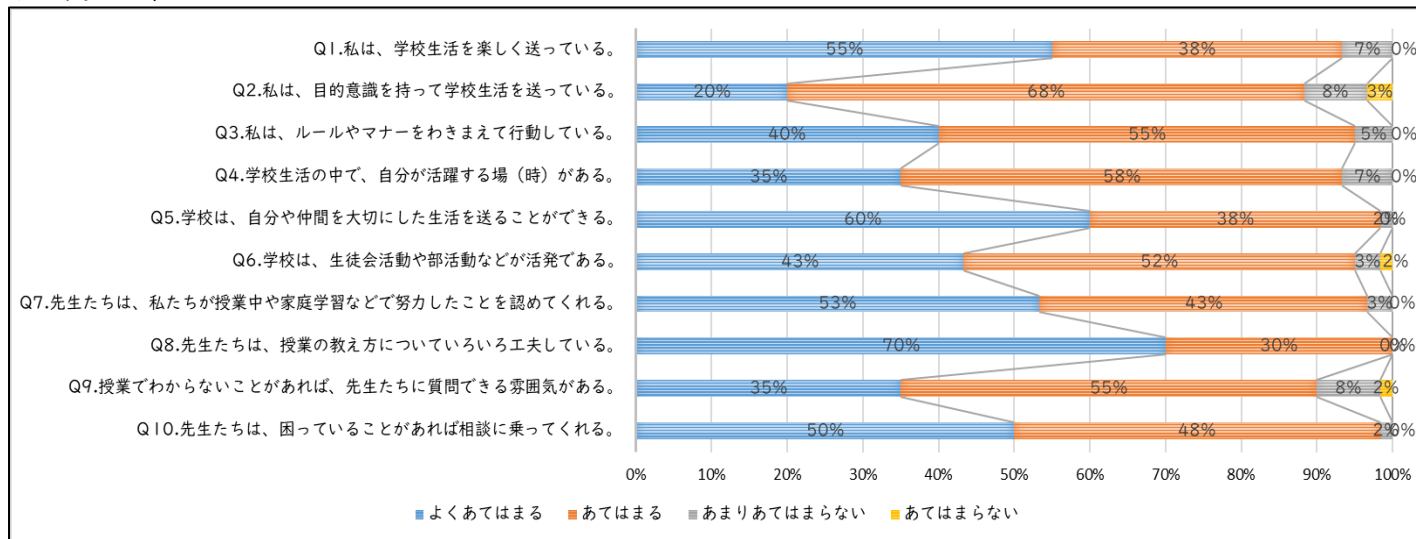
- 5校時 授業参観
(13:45~14:35)
- 6校時 PTA学級委員選出会議
(14:45~)



学校評価アンケートより

2学期末に生徒と保護者のみなさまに、学校評価アンケートをお世話になりました。ご協力いただきありがとうございます。いただいたご意見を基に、教職員で課題を共有するとともに、課題の解決に取り組んでまいります。今後ともご理解とご支援をお願いいたします。

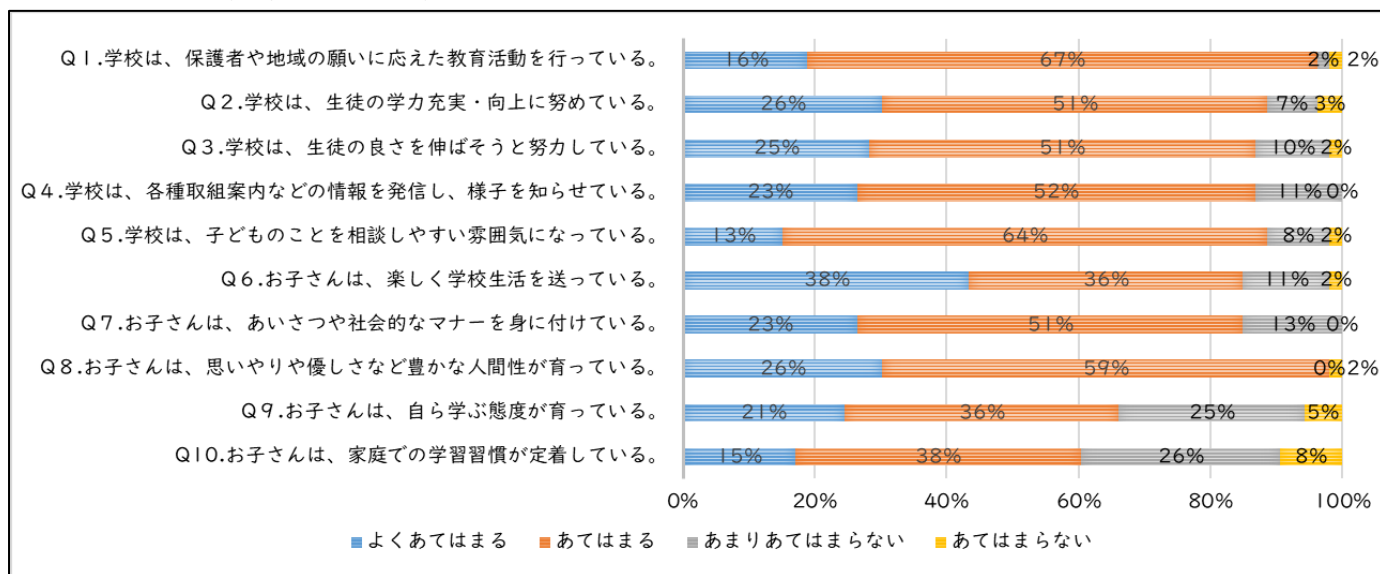
○生徒の回答



ほとんどの項目で、肯定的な回答が90%を超えています。授業や行事等での学級内での活動や異年齢集団での活動に力を入れて取り組んでいます。その中で、集団の高まりや人間関係の構築が進んでいることが影響していると考えています。

一方で、「2.私は、目的意識を持って学校生活を送っている。」「9.授業でわからないことがあれば、先生たちに質問できる雰囲気がある。」については、他の項目に比べて、否定的な回答の割合が大きい結果でした。2学期の期末テスト前には、わからないところを教員に質問する取組を実施し、個別に質問する生徒も増えました。今後も生徒の声を大切にしながら取り組んでいきます。また、引き続き、授業や休み時間等の学校生活の中で、学級やひとりひとりの子どもの様子を見ていくとともに、二者懇談等を活用して子どもたちの思いに寄り添っていきます。

○保護者の評価（回答率 86.9%）



1～8の項目において、80%を超える肯定的な回答をいただいています。今年度は、山菜まつりの運営への参加、八田中祭（体育祭・文化祭）のポスターの掲示やチラシの設置、NIE オピニオン交流会への参加等、地域の皆様と子どもたちを繋ぐ取組を実施しました。授業参観にも多くの保護者の皆様に参加いただき、学校の様子を見ていただきました。保護者の皆様や地域の皆様に学校の様子を見ていただく機会を大切にしながら取り組んできたことが、肯定的な回答につながっていると考えております。

一方で、「9.お子さんは、自ら学ぶ態度が育っている。」「10.お子さんは、家庭での学習習慣が定着している。」については、否定的な回答の割合が大きい結果となりました。本校では、綾部市の取組でもあります8コマ学習を大切にし、毎日の家庭学習の計画を立てて取り組むことにも力を入れております。今後も自身の学習の進め方や取組内容も振り返らせ、継続して指導をしていきます。

また、進路指導や子どもたちへの指導に関するご意見もいただきました。保護者の皆様からいただいたご意見については、組織的に検討し、回答することを確認しました。

進路指導に関わっては、お子様や保護者の方が心配されていることをしっかりと受け止めて、早い段階からの具体的な指導ができるように心がけていきます。教員の適切な指導については、教職員で再度確認をしました。子どもたちや保護者の皆様にご理解いただけるように努めてまいります。子どもたちへの指導については、学校生活での様子をしっかりと見ていくことや生徒の思いをしっかりと受け止めて一緒に考えていくことを、これまで以上に大切に指導にあたっていきます。子どもたちの成長を支えていくために、教職員が一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。お忙しい中、アンケートへのご回答をお世話になり、ありがとうございます。

学校のホームページを開設しています。行事や連絡事項の確認にご活用ください。

URL <https://www.kyoto-be.ne.jp/yata-jhs/cms/>

